

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	保土ケ谷公園		
所在地	横浜市保土ケ谷区花見台・仏向町・星川1丁目・3丁目		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/hodogaya/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（昭和32年4月）		
指定管理者名	神奈川県公園協会・サカタのタネグループ・オーチャー共同事業体		
指定期間	R4.4.1 ～ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (横浜川崎治水事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
公園主催イベントなどの開催、高校野球大会や区民まつりなどの開催調整を適切に行い、公園利用者数の目標達成率が101.2%となった。このため、利用状況はA評価となり、利用者満足度は、全体の満足度についての評価が高いこともあって、S評価となった。 収支状況については、利用料金収入は減ったが、駐車場収入が増えたため、収入合計としては増額となった。 引き続き、地域や競技団体等と連携しながら維持管理や利用促進等に取り組み、公園本来の魅力をより引き出すような管理運営を期待したい。
<各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 提案に基づき、高品質な運動施設の維持向上に取り組んだ。また、植物管理においては、スタッフや専門家による定期的な樹木点検及び危険木の伐採などを行い、利用者の安全確保に取り組んだ。さらには地元福祉施設と連携したバリアフリー施設点検、地元高校と連携した清掃活動等、地域との連携を深めながら管理運営に取り組んだ。 ◆利用状況 計画どおりに利用促進を実施したほか、高校野球関東大会の開催調整等により、利用者数は目標達成率101.2%、前年度対比では1.8%の増となり、A評価となった。 ◆利用者の満足度 4月と10月に実施し、上位2段階の回答割合が96%となり、S評価となった。 ◆収支状況 当初予算に対して、利用料金収入と自動販売機収入が減ったものの、事務費の節減により支出も減ったことから、収支比率は100.03%となり、A評価となった。 ◆苦情・要望等 施設に対する苦情や警備員の利用指導に対する苦情があったが、適切に対応した。 ◆事故・不祥事等 8月5日及び6日に25mプールの排水溝のグレーチングで怪我をする事故が発生したため、掲示や場内アナウンスによる注意喚起、グレーチング上にコースロープを設置し立入制限を行った。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。 ◆その他 令和6年度の3項目評価についてはA評価とした。今後も引き続き、利用の拡大に努めてもらいたい。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	A	S	A	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	隔月実施	指定管理者からの報告に基づき、管理状況の確認を行った。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	月例報告時に、報告書に基づき実施内容の確認及び改善点等について意見交換を実施した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
各運動施設の高品質な維持管理を行う。	硬式野球場やサッカー場で、常駐グラウンドキーパーが他施設と情報共有しながらきめ細やかな管理を実施した。	各社のノウハウを生かし、各運動施設の高品質な維持管理に取り組んでおり、引続き、高品質な維持管理を期待する。
樹林地や草地の管理、植物管理について、美しい癒しの空間づくりを行う。	職員、樹木医等による定期的なチェックを行い、枯損木の把握や処理を行った。	適切に枯損木の把握や処理を行い、被害の未然防止に努めている。今後も継続して取り組まれることを期待する。
運動施設を有効活用した教室・イベント等を実施する。	プロチームやトップアスリートと連携し、野球教室(参加者130人)、サッカー教室(参加者469人)、オープンスタジアム(参加者1685人)等を開催した。	運動施設を有効活用した教室等を積極的に実施し、利用促進等に努めている。今後も継続して取り組まれることを期待する。
スポーツ・健康を通じた連携・協力体制	横浜市スポーツ協会や保土ケ谷区スポーツ推進連絡協議会等と連携しスポーツの普及啓発や健康増進に取り組んだ。	地域の協議会等と連携し、スポーツの普及啓発等に貢献する取り組みを実施した。今後も継続して取り組まれることを期待する。
地域の人材・団体等との連携・協力体制	地元社会福祉協議会と連携し、身障者目線によるバリアフリー適合状況の点検を行った。	地域団体と連携し、点検を実施する等、地域との協力体制を構築する取り組みを実施しており、今後も継続して取り組まれることを期待する。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
○軽飲食・売店の営業 ・カフェとギャラリーを併設し、くつろぎの空間を演出。	計画通り実施。カフェは原則として通年営業。硬式野球場売店は高校野球大会開催日に営業。
○オートテニス ・オートテニス2台による営業、 ・テニスラケットの貸出。	計画通り実施。
○オリジナルカレンダーの販売	計画通り実施。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
A	

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	723,575	804,815	819,596
対前年度比		111.2%	101.8%
目標値	794,200	794,200	810,100
目標達成率	91.1%	101.3%	101.2%

目標値の設定根拠：

提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 天候別（晴・曇・雨）の人数＋有料施設申込者数＋イベント等参加人数の合計で算出

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

計画どおりに利用促進を実施したほか、高校野球関東大会の開催調整等により、利用者数は目標達成率101.2%、前年度対比では1.8%の増となり、A評価となった。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	年2回実施した、詳細アンケートの結果を使用する。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 229 / 229 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	144	76	7	1	1	229	広くて清潔 駐車場が少ない
回答率	62.9%	33.2%	3.1%	0.4%	0.4%		
前年度の 回答数	165	61	4	3	0	233	
前年度回答率	70.8%	26.2%	1.7%	1.3%			
回答率の 対前年度比	89%	126.8%	178.1%	33.9%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備 考>

4月と10月に実施し、上位2段階の回答割合が96%となり、S評価となった。

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	202,500	51,463	93,072	駐車場：85,714 自販機：7,358	347,035	347,035	0	
	決算	202,500	50,609	89,500	駐車場：83,001 自販機：6,499	342,609	338,395	4,214	101.25%
前年度	当初予算	202,980	51,463	93,072	駐車場：85,714 自販機：7,358	347,515	347,515	0	
	決算	202,980	51,642	91,783	駐車場：85,229 自販機：6,554	346,405	339,952	6,453	101.90%
令和6年度	当初予算	203,148	51,463	93,072	駐車場：85,714 自販機：7,358	347,683	347,683	0	
	決算	203,148	50,208	93,295	駐車場：86,882 自販機：6,413	346,651	346,533	118	100.03%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和6年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

当初予算に対して、利用料金収入と自動販売機収入が減ったものの、事務費の節減により支出も減ったことから、収支比率は100.03%となり、A評価となった。

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	メール	3 件	プール側テニスコートの部分補修箇所の段差の解消、全面改修の早期実施や改修計画の有無。利用料の支払いを一部利用も可能にしてもらいたい。	部分補修箇所の段差の解消に向け順次対応した。県としての修繕計画は未定であること、お客様判断時の不還付について説明した。
職員対応	メール	1 件	園内で犬の散歩中、仲間同士で立ち話をしていたところ、公園警備員に強い口調で注意された。	委託先の警備会社に対し、利用指導を行う際も丁寧な対応をするよう、全ての警備員に徹底するよう指導した。
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☐ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R6. 8. 5	①25mプールに入水中、排水溝のグレーチングに左足の小指が当たり怪我をした。 ②8月5日 電話及びメールにて確認 ③25mプール付近に「水底の排水溝に注意」等を掲示 ④無 ⑤無 ⑥無
R6. 8. 6	①25mプールに入水中、排水溝のグレーチングに足が乗った状態でスライドしたところ、左足の裏が切れてしまった。 ②8月6日 電話及びメールにて確認 ③注意喚起の掲示をプール施設内の7か所に設置。受付や場内放送（1時間ごと）での注意喚起。同様の事故を防ぐため、グレーチング上の水面にコースロープを張り、立入制限。専門業者による点検と応急措置（水中ボンドの塗布）を実施。 ④無 ⑤無 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。